

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	4	課題区分	C
横断的な課題	「佐久の産業は粒ぞろい」未来につなげる産業づくり				
地域重点政策	「佐久の産業は粒ぞろい」未来につなげる産業づくり				
実施機関	佐久地域振興局			担当課	所属 佐久農業農村支援センター
事業名	佐久産農畜産物地消地産流通体制確立事業			電話	0267-63-3167
				E-mail	saku-nogyo@pref.nagano.lg.jp
事業の概要等	目的 (目指す姿)	佐久地域の宿泊施設等に佐久産農畜産物の利用拡大を図るため、地域振興局が農畜産物流通業者及び市町村、JA、農産物直売所等と連携し、佐久産農畜産物の地消地産の地域内流通体制を確立する。			
	現状と課題	<p>・軽井沢町、JA、農産物直売所、流通業者等と連携し、軽井沢町内の宿泊施設に新たに地元食材を提供する取り組みを実施し、2022年目標20施設に対して実績は18施設となった。</p> <p>・今後は、佐久地域の宿泊施設等にも新たに佐久産農畜産物の利用拡大を図る必要がある。</p>			
内容 (変更後の内容)	<p>①地域内流通体制の確立 農畜産物流通業者等と連携し、佐久地域産農畜産物を佐久地域の宿泊施設で利用するための地消地産流通体制の確立に取り組む。 農畜産物流通業者(卸業者・仲卸業者、仲買業者)、実需者(宿泊施設の調理担当者等)との打合せを合計3回実施。実需者の打合せの際には、佐久地域農産物のサンプルを提供する。</p> <p>②佐久産農畜産物おすすめ食材リストの作成・送付 佐久産農産物おすすめ食材リストを作成し、③宿泊施設等農畜産物流通実態・利用希望調査票に同封する。</p> <p>③宿泊施設等農畜産物利用希望・需要実態調査の実施 関係機関と連携し、佐久地域の市町村観光協会や関係団体(長野県旅館ホテル組合会、市町村ホテル旅館組合)協会の宿泊施設等300施設に農畜産物利用希望・流通実態調査表を送付、回収、集計することで利用希望・流通実態を把握する。</p> <p>④佐久地域産農産物の利用を検討する宿泊施設等の掘り起こし 希望する宿泊施設等へ佐久地域産農産物のサンプル品を提供し、利用の検討につなげる。 サンプル品を提供した宿泊施設には、後日感想等の聞き取りを実施。</p>				
	事業期間	令和5年4月		～	令和6年3月
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考	
	①地域内流通体制の確立	農畜産物流通業者等との地消地産流通体制の確立打合せ	12,400		
	②佐久産農畜産物おすすめ食材リストの作成・送付	宿泊施設等に対し、農畜産物食材おすすめリストを作成・送付	23,760		
	③宿泊施設等農畜産物流通実態・利用希望調査の実施	宿泊施設等に対し調査表を送付。回収、集計を実施。	34,776		
④佐久地域産農産物の利用を検討する宿泊施設等の掘り起こし	希望する宿泊施設等へ佐久地域産農産物のサンプル品提供	50,000			
合計			120,936		
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況
	②農畜産物食材リスト一覧の作成・送付		送付300施設以上	284施設	○ 達成
	③地元農畜産物の利用流通実態及び利用希望の調査票を送付・回収・集計		送付300施設以上、回収・集計150施設以上	送付:284施設 回答:84施設	○ 一部達成 ● 未達成

事業実績・成果	<p>①流通関係者(市場、直売所、農業者)からの聞き取りにより、宿泊施設への佐久地域産農産物の供給状況について確認を行った。</p> <p>また、流通体制を確立し、継続して取引を行うためには、宿泊施設側が佐久地域で栽培可能な農産物や旬について理解することが必要であるとの意見が出されたため、今度は宿泊施設への情報提供に対しても取組を行う。</p> <p>②佐久地域の特徴的な農産物の情報を記載したおすすめ食材リストを作成し、食事を提供している宿泊施設284施設に送付した。</p> <p>③佐久地域産農畜産物の利用実態調査を行うため、284施設にアンケートを送付し、84施設から回答があった。佐久地域の農産物を利用している施設は86%であるものの、意識的に仕入れている施設は45%にとどまる現状を把握した。</p> <p>当初は300施設へのアンケート送付を目標としていたが、素泊まり等の食事提供を行わない施設を除いたところ、管内の対象施設が284施設であった。また、アンケートへの協力を呼び掛けたものの、想定より回答が得られなかったことから目標を達成することができなかった。</p> <p>④軽井沢ホテル・旅館組合に所属する宿泊施設に対して佐久地域産の養殖魚をサンプルとして提供した。利用した宿泊施設からの感想では利用の意向はあるが、市場を通じた流通が望ましいとの要望があった。</p>
今後の方向性	<p>アンケート結果を基にして、宿泊施設における佐久地域産農畜産物の認知度の向上と、佐久地域産農畜産物の利用拡大に向けて取り組みを行う。</p>